ふくおか シルバーだより

きっと、もっと、これから。

広報誌 2024.10 Vol.198

もくじ

特集 女性会員拡大を目指して ～輝く女性の集い2024開催～
02 市へ要望提出
03 協力事業所顕彰
04 安全・適正就業対策委員会だより
05 フリーランス新法とシルバー人材センター
06 7区通信
09 会員紹介
10 わが町ぶらり散歩
裏表紙 互助会サークル紹介・事務局からのお知らせ

特集

女性会員拡大を目指して ～輝く女性の集い2024開催～

人生100年時代と言われる昨今、就労を通じて高齢者の生きがいを支援するシルバー人材センターの役割が高まっています。福岡市シルバー人材センターの女性会員の割合は40%を超えましたが、生活支援サービスや保育補助などのニーズが増加しており、引き続き、女性会員の拡大が課題となっています。

このため、女性会員のイメージアップと新規入会を促進するイベントである「輝く女性の集い」を2018年から開催するとともに、2020年には、新型コロナ感染症の影響で、本イベントが開催できなかったことから、代わりに、約7,000名の会員をはじめ福岡市のシニア層がいつまでもいきいきと前向きに生きていくことを応援する楽曲「きっと もっと これから」をイメージソングと定めました。

今年は11月21日(木)に「輝く女性の集い2024」を開催します。当センターの女性会員“シルボンヌ”によるお仕事紹介をはじめ、福岡が誇る講談師 神田紅さんをお迎えしての講談を予定しています。参加対象は福岡市内在住の60歳以上の女性です。会員の方もお友達を誘ってご参加ください。

第2部 講談「大声を出して長生き人生」

講談師:神田紅氏プロフィール

早稲田大学商学部中退後、文学座付属演劇研究所を経て女優の道を歩き始めるが、講談師・二代目神田山陽と出逢い弟子入り。平成元年真打昇進。「芝居講談」という新しいジャンルを開拓、明るく楽しくわかりやすい芸風で、古典から現代ものまで幅広い作品を得意とする。講談の普及のため講談教室「紅塾」で東京、福岡合わせて100余名の生徒を熱心に指導している。

NHKラジオ深夜便「ミッドナイトトーク」出演中。自伝「紅流 女講談師として生きて」絶賛発売中!

日時 2024.11月21日(木) 13:30～16:00(受付13:00)

会場:アミカス 4階ホール

詳細は次のページをご覧ください。

令和6年度実績(令和6年8月)	会員数	男 性	女 性	就業者数	就業率
	6,778人	4,010人	2,768人	3,499人	51.6%

公益社団法人
福岡市シルバー人材センター
■https://www.fukuoka-sjc.org/

当日のプログラムを紹介します！

輝く女性の集い2024

第1部

●シルボンヌ（センター女性会員）によるお仕事紹介
●フラダンス（エンジョイフラ百道浜）
●手話ダンス講座（手話ダンスYOU&I 北野）
●センターイメージソング「きっと もっと これから」手話ダンス

各出張所で働くシルボンヌによるお仕事紹介、百道浜公民館のフラダンスサークルや、「輝く女性の集い実行委員会」のメンバーによる当センターイメージソング「きっと もっと これから」の手話ダンス披露に加え、その振付を作成してくださった「手話ダンスYOU&I 北野」代表 北野眞弓氏による手話ダンス講座もあります。

第2部

●講談「大声を出して長生き人生」（講談師 神田紅さん）

講談師 神田紅さんによる講談です。講談とは、講談師が釈台（しゃくだい）と呼ばれる小さな台の前にすわり、歴史ものを中心とした様々な物語を独特の調子で披露する日本の伝統芸能です。

神田紅さんは、福岡市出身で日本講談協会会長も務められ、「芝居講談」という新しいジャンルを開拓され、新作も数多く演じられます。今回は、「大声を出して長生き人生」というタイトルで、私たち、シルバー世代に元気を与えてくれます。

イベント終了後は、「入会案内・相談コーナー」を設けて、入会説明会DVDの視聴や活動紹介ファイルによる私たち、シルバー人材センターの活動を詳しく紹介し、入会につなげます。

日時 2024. 11月21日（木）
13:30～16:00（受付13:00）

会場 アミカス 4階ホール
福岡市南区高宮3丁目3-1
西鉄天神大牟田線「高宮駅」西口すぐ

対象 福岡市在住のおおむね60歳以上の女性

参加費 無料 定員150名
（応募者多数の場合は抽選）

後援：福岡市

輝く女性の集い応募内容

◆応募方法

会員の方

出張所、区役所などで配布するチラシ（ホームページにも掲載しています）の申込欄に記入の上、出張所に申し込みください。

一般の方

チラシの申込欄に記入の上、FAXしていただくか、「輝く女性の集い参加希望」と書いて、氏名・ふりがな・年齢・住所・電話番号を明記の上、メール・FAX・はがきにて、下記応募先にお申し込みいただくようご案内ください。

◆締め切り

2024.11月5日（火）必着

応募者多数の場合は、抽選となります。
当選者のみ、入場券（はがき）を11月8日（金）頃に郵送します。
入場券は、当日必ずお持ちください。

問い合わせ／応募先

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15
公益社団法人 福岡市シルバー人材センター
e-mail honbu@fukuoka-sjc.org　HP https://www.fukuoka-sjc.org/

TEL 092-643-8200
FAX 092-651-5000

シルバーへの支援を福岡市に要望

地域社会に貢献する全国のシルバー人材センターの決意と活動状況を記した要望書を福岡市に提出しました。

高島宗一郎福岡市長宛の要望書は、8月22日（木）に藤本広一福祉局長へ（写真上）、打越基安福岡市議会議長宛の要望書は8月27日（火）に議長へ（写真下）直接提出しました。

提出にあたり、中川理事長と三笘常務理事から事業進捗状況や課題、地域社会におけるシルバー人材センターの果たしている役割などを説明し、福岡市からの事業発注の確保や補助金の確保など、当センターへの支援について要望しました。

協力事業所顕彰

令和6年度定時総会で公表された協力事業所顕彰の対象事務所へ
感謝状と記念品の贈呈に訪問いたしました。

［東区］ 社会福祉法人しののめ会 信愛保育園 様

社会福祉法人しののめ会 信愛保育園は、東区多々良川に程近い、緑豊かな丘陵地、名島5丁目にあります。

昭和53年の開園で、0歳児から5歳児まで、現在218人の園児が在籍しており、散歩や遊び、知能教室などを通して五感を刺激し「聞ける!」「見れる!」「言える!」「やれる!」と、“自己肯定できる子ども”を保育目標にされています。

また、食育にも力を入れており、アレルギー除去食や離乳食についても、個別に栄養士と相談しながら対応されています。

シルバー人材センターからは3人が就業し、保護者の送迎車の案内と園児の安全確認に携わっています。

前列左から、渡部副園長、中村園長、立石先生、田代主任
後列左から、菊堂委員長、三笘常務理事

［城南区］ 社会福祉法人若葉会 さくら保育園 様

社会福祉法人若葉会 さくら保育園は、昭和53年に城南区神松寺に開園した保育園で、約45年間の永きにわたり地域の保育事業を担っています。同園との取引は、平成30年2月に始まり今年で7年目になります。8月現在園内清掃（請負）に2名、保育補助（派遣）に1名の会員が就業しています。また、季節的な卒園証書の筆耕業務も受注しています。

6月21日（金）午後、さくら保育園を池田委員長が訪問し、田島主任保育士に「協力事業所顕彰」の感謝状と記念品の贈呈を行いました。田島主任から「皆さんに頑張っていただき、本当に助かっています」と言っていただきました。

今後とも日々の地道な活動を続けてまいります。

左から池田委員長、田島主任保育士

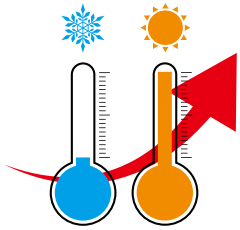
［南区］ 社会福祉法人 しいのみ学園 様

しいのみ学園は放課後等デイサービス施設「しいのみクラブ」の運営を行っている社会福祉法人です。7月8日（月）当センターから三笘常務理事他3名が訪問し、朝井管理者に感謝状と記念品を手渡しました。しいのみクラブは、社会の中で自ら「生きる」人間として、笑顔で、胸を張って、充実した人生を歩んで欲しいという理念で運営されているそうです。

令和元年度から4人の会員が送迎業務に派遣就業しています。当日、朝井管理者に面談した際、シルバーの会員はとてもやさしく、よく就業してもらっているとお褒めの言葉をいただきました。この言葉を聞いた時は、シルバーで仕事をやっていて本当に良かったと思った瞬間でした。

前列 朝井管理者（中央）他スタッフの皆さん
後列 三笘常務理事

安全・適正
就業対策委員会だより



だんだんと秋の空気が感じられる季節になってきましたね。朝晩と日中の温度差で体調を崩さないようにしましょう。

今年度、就業途上で事故に遭われる方が増えています。身の回りにも危険が潜んでいますので、十分に注意しましょう!

傷害事故事例1

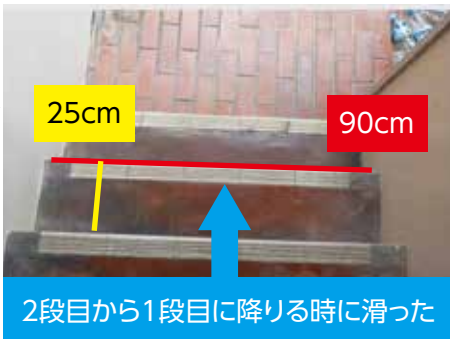
就業後帰宅途中、駐車場を横切る際に転倒し骨折

症 状 左股関節骨折

対 策 足元に十分注意して摺り足にならないよう、しっかり踵を上げて歩きましょう。
日頃から無理のない、足の筋トレをするのも有効です。

傷害事故事例2

就業先へ向かうため、自宅マンションの外階段を下りている際に階段を踏み外して捻挫



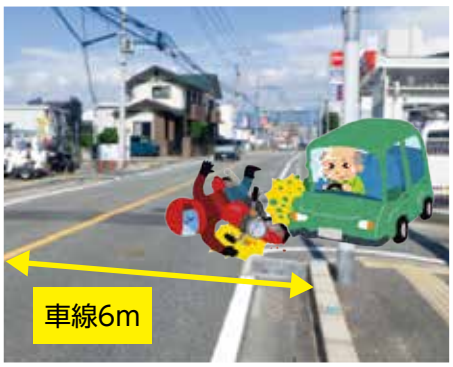
2段目から1段目に降りる時に滑った

症 状 右足首捻挫

対 策 特に階段の昇降や段差などで、足元に注意が必要です。

傷害事故事例3

就業先に原付バイクで向かう途中、側道から出てきた車両に撥ねられ救急搬送



症 状 急性硬膜下血腫・左手小指骨折

対 策 もらい事故ではありますが、車両(原付含む)運転中は安全運転に十分心がけ、走り慣れた道でも漫然と走行せずに周囲の確認を行うことが大切です。

令和6年度事故報告 令和6年8月末現在(累計保険適用件数)	傷害事故	賠償事故	自動車事故	合　計
	16件 (前年度比+3)	7件 (前年度比△7)	5件 (前年度比△3)	28件 (前年度比△7)

フリーランス新法とシルバー人材センター

令和6年11月1日に「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（フリーランス・事業者間取引適正化等法）、いわゆるフリーランス新法が施行されます。

この法律はシルバー人材センターにも適用されるため、フリーランス新法とシルバー人材センターの関係について、お知らせします。

フリーランス新法とは

フリーランス（会員）が安心して働ける環境を整備するために、フリーランス新法が制定されました。

この法律が施行される11月1日以降、新規で就業を開始される会員の皆さまに就業条件の明示がはじまります。

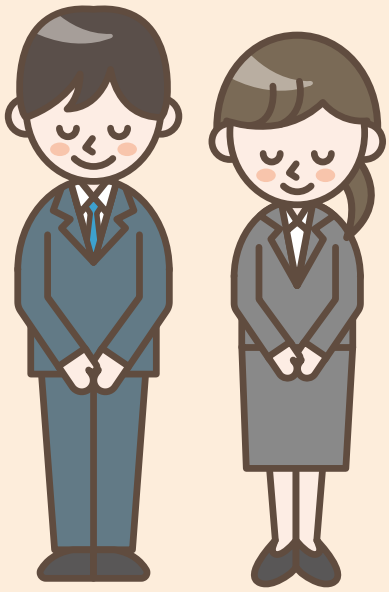
シルバーでは、「Smile to Smile」（スマスマ）で条件明示を行いますので、ご登録がまだの方はお早めに出張所へお申し出ください。

Smile to Smile

会員の皆さまへおねがい

仕事の依頼をシルバーではなく、お客様から直接受けた時は、**必ず作業前に出張所へ連絡するか、お客様に出張所へ連絡するよう依頼してください。**

剪定などのグループ就業で、作業日程が決まった場合は、**必ず事前に就業先や就業予定会員の情報を出張所へお知らせください。**



フリーランス新法について、
詳しい内容はこちらをご確認ください。

厚生労働省

7区通信

城南区

福祉家事援助サービス班全体会議

広報委員　衛藤 忠済

年に一度の「福祉家事援助サービス班全体会議」が7月24日（水）午後、城南市民センターにて開催されました。日頃一人就業が多い会員の皆さんには、同じ班の仲間を知る貴重な機会でもあります。今回の参加者は34名です。

森川専任担当理事並びに瀧川専任担当理事のあいさつのあと、会議は始まりました。事務局による「産前産後ヘルパー派遣事業」、「福祉生活支援」の説明ののち、大場班長の先導で福祉・家事援助サービス憲章を全員で唱和し、就業上の基本姿勢を再確認しました。

吉岡副委員長と家事援助班の班長・リーダーの皆さん

小石澤会員による安全就業の解説では多発する転倒事故を取り上げ、転倒しないためには「意識して足を上げて歩く」こと、と強調しました。

後半は「地域包括ケアの取り組み」（福岡市出前講座）について学習しました。井上講師（福岡市地域包括ケア推進課）より、丁寧かつ分かり易い解説があり、講義後の質疑応答の時間では積極的に質問が出ていました。このテーマへの関心の高さがうかがえます。

出張所担当者より、8月以降の各種研修会・講習会及び求人情報の案内がされたのち会議は終了しました。

早良区

筆耕班の活動

広報委員　金田 博保

早良出張所では月1回筆耕班の勉強会を開催しており、講師の姫野会員、班長の大﨑会員を含む17名がレイアウトの勉強を中心に、字形の添削など、事務局主催の筆耕判定会対応の実践的な学習をしています。

9月6日（金）の勉強会では12名の会員参加のもと、翌週が筆耕判定会ということもあり、「ミニ判定会」として卒業証書と保育証書を真剣な表情で書き上げていました。

筆耕判定会で合格すると筆耕の仕事が受注可能になるということに加え、今以上にレベルアップしたいという気持ちも練習を継続する動機になっていると思われます。

発注は小学校、幼稚園、保育園からが多く、毎年12月頃に筆耕のお仕事発注のお願いとして、各所にご案内文書を出しています。

その後卒業証書、卒園証書等を書くのは2月が圧倒的に多く、多忙を極めるとのことです。それにしても、皆さん一様に達筆で、仕上がった作品はとても素晴らしいと感心します。

西区

令和6年度 第3回役員会開催

広報委員　大西 秀人

8月23日（金）午前10時より、西出張所大会議室にて役員26名出席のもと、「令和6年度第3回役員会」が開催されました。

清水委員長より、主要項目とその内容についての詳細説明が以下の通りありました。

1. 令和6年度事業進捗

8月14日現在の会員数及び就業会員数

	会員数（名）	就業会員数（名）	就業率（%）
男性	619	334	54.0%
女性	391	196	50.1%
合計	1,010	530	52.5%

（前年比－1）

事業業績:前年比109%の伸び

2. 安全就業について

7月までの事故発生件数　1件

◎元気に就業するための3つの心がけ

(ｱ)　自分の体を知ろう

(ｲ)　コツコツとプチ運動

(ｳ)　チームワークを大切に

3. フリーランス新法への対応として

「スマホ」を利用し「Smile to Smile」を活用しての「センター情報」提供への移行

以上、出席者全員に共有されました。

なおご出席の瀧川専任担当理事より、就業開拓に関し、出張所事務補助職員在任時に担当した「姪浜タクシー業務請負」での「工数拡大」の事例説明がありました。

東区

互助会ふれあい 日帰りバス旅行

広報委員　宮川 洋

互助会の「ふれあい日帰りバス旅行」は、9月12日(木)と13日(金)の2班に分かれ、合わせて53名の会員が参加して「由布院」へ向かいました。

最初に、朝採れの新鮮な野菜が並んでいるということで「道の駅ゆふいん」を訪れてショッピングを楽しむとともにガイドマップなどを手に入れ自由行動に備えました。

昼食は「勢吉茶屋」でとり、食後は2時間の「自由行動」となりました。

個性的なショップが連なる「湯の坪街道」や「金鱗湖」を散策したり、温泉に入ったり、それぞれ思い思いの時を過ごしました。

両日とも好天に恵まれ、参加した会員全員がバス旅行を楽しんでいました。

博多区

手芸サークルが復活

広報委員　白石 寛治

コロナ禍の影響で中断されていた手芸サークルが、名称を「互助会サークルあじさいの会（手芸）」として復活しました。

9月6日（金）午前11時、博多出張所の会議室にサークル代表者の廣瀬会員以下10名のメンバーが集合して話し合いが行われ、今後のサークルの運営などについて次のとおり決定しました。

開催日時・場所
第2土曜日 午前10時から：長生園
第3金曜日 午前10時から：博多出張所会議室
会費：月100円

なお、作品はシルバーや地域の催しなどで展示・販売する予定です。

サークルでは、メンバーを募集していますので、手芸経験の有無にかかわらず、興味のある方は博多出張所（池田）までご連絡ください。

中央区

役員会開催
スマホ教室開催中

広報委員　佐藤 一雄

役員会開催

令和6年度第2回（7月26日）、第3回（8月23日）の役員会を開催。役員会には職群、地域の各班長が出席しています。第2回は6月の総会を受けて新委員長就任後初めての役員会で、会議のペーパーレス化を図ったり出張所スタッフを全員紹介するなど、試行錯誤の中でのスタートとなりました。

第3回では会議資料は手元に欲しい、という役員の要望を受けて、パワーポイントのスライドを出席者に配布。事業報告ではレーザーポインターでスライドを指し示しながらの説明に、出席者は聞き入っていました。報告の中で世利委員長は新会員の獲得と、就業率の向上が課題であると指摘。それに対して役員から新会員獲得のための広報のあり方が提案されるなど、活発な議論となりました。

スマホ教室開催中

会員専用の情報提供システムである“Smile to Smile”にスマートフォンでアクセスできるようにする勉強会を8月7・21日と9月11・25日に開催。中央出張所では“Smile to Smile”の利用登録が全会員の5割に届いておらず（8月14日現在）、就業者に限っても3割の会員が未登録となっています。

フリーランス法の施行に向けて会員の利便性向上とセンターの事務効率アップのため、利用登録を進める試みが続きます。

南区

新人班長奮戦記

広報委員　鳴岡 裕司

今年9月に除草班の班長に就任した竹﨑会員にお話をうかがいました。

「それまでは班員として就業していましたが、今は会員を取りまとめる気苦労を味わっています。当然のことながらシルバーですので、体調不良、病気等予期せぬ出来事に翻弄されているのも現実です。」（取材時は6名で作業予定をしていましたが、実際は3名の参加でした。）

竹﨑班の宮崎会員

「除草の喜びは何といっても画用紙1枚ほどの広さから、徐々に全体が綺麗になっていく喜びです。そして、就業報告書にお客様から署名を貰う時、とても感謝されることです。

お客様の笑顔を見れば、疲れも吹き飛びます。」とのこと。

人とは自然に触れ、自然に還ってゆくものだと得心した取材でした。暑い中、本当にお疲れ様でした。

竹﨑班長

東区

会員紹介

藤村 悠会員

会員になったきっかけ

会社を60歳で定年退職後、まだ人生先は長いと思い、何か本格的に取り組むものをつかみたいと自宅近くの県立高等技術専門校・庭園管理科に入学し、卒業と同時に造園技能士、庭園管理士、樹医の資格を取りました。

造園会社からの引き合いもありましたが断り、シルバー人材センターに剪定の仕事があることを知り、またその運営理念にも共感できたため平成10(1998)年61歳で入会しました。実家での農作業もあるため、シルバーでの仕事であれば両立できると考え入会したのです。

就業について

剪定業務の傍ら、一時、剪定・除草担当専任理事、シルバー農園園長業務など現在まで26年間、剪定関係の仕事で忙しく過ごしています。平成30(2018)年には表彰状をいただくなど充実したシルバー人生です。これも関係者の方々のご指導ご鞭撻の賜物と感謝しております。

日頃の剪定業務にあたっては「作業が早くてきれい、木のためにも」をモットーに、自分の納得できる仕事を心がけ、それが住環境の改善や保全、庭園の観賞に役立つことでお客さんから「きれいになった」と喜んでもらえることが、何よりの生きがいです。

適度な緊張感・責任感・充実感・社会貢献・人的交流の機会もあれば、今後の健康のためにも、認知症予防にも役立つかと思い、もう少し頑張りたいと考えています。剪定班のメンバーからは「90歳まで頑張れ」と励まされていますが、果たして何歳までできますやら。

広報委員：宮川 洋

96 わが町ぶらり散歩

早良区

広報委員：金田 博保

［　藤崎から西新へまちあるき　］

**藤崎駅周辺は早良区役所をはじめ行政機関が集まり、
明治通り沿いはオフィスビルや各種商業施設もあるため交通量も多く、活気があります。
今回は同駅に程近い千眼寺を訪れた後、
明治通りのすぐ南を走る藤崎商店街から東へ向かって西新商店街を歩きました。**

千眼寺

交通量の多い幹線道路沿いにある千眼寺ですが、境内に入るととても静かな雰囲気に包まれています。このお寺は1698（元禄11）年に建てられた黄檗宗(おうばくしゅう)の禅寺です。

黄檗宗は臨済宗や曹洞宗と並ぶ日本三禅宗の一つで、江戸時代に開始され、鎌倉時代に開始された臨済宗や曹洞宗と比較すると新しい宗派といえます。

千眼寺の本堂には南宋より渡来の釈迦如来座像、両脇に禅の創始者達磨大師像と寺院の守護者関帝像が祀られています。

藤崎商店街

藤崎商店街から西新に向かって高取商店街、中西商店街、西新中央商店街、オレンジ通り商店街と続き、この5つが西新商店街を構成しています。藤崎商店街は紅葉八幡宮の参道とクロスし、一階に店舗を構えるマンションが並んでいて、スーパーをはじめ日常使う商品を扱う店舗が多い印象です。

西新中央商店街からオレンジ通り商店街へ

西新中央商店街は横丁がいくつも接続し、少し歩くと赤い小さな鳥居があります。これは勝鷹水神というミニ神社で、商売繁盛、ソフトバンクホークス必勝などを祈願して祀られています。これに続くオレンジ通り商店街は、新しい店とともに、横丁に入るとスナック・バー・小料理屋など昔ながらの店が多くにぎわっています。

プラリバ（都市型商業施設）

西新の象徴的ビルとして生活雑貨店・飲食店・サービス店などを中心に約40店舗が入っているプラリバは地下鉄西新駅に直結、地下2階は食品スーパー、地下1階は総菜・日用雑貨など食品関連フロアで、地上4階のルーフトップガーデンには屋上庭園やカフェなどがあります。写真の中央奥にそびえているのは住宅・商業一体開発で地上40階、約140メートルの高層マンション「ブリリアタワー西新」です。

南区 互助会サークル紹介

ゴルフサークル「みなみニコニコ会」

平成13(2001)年に発足したゴルフサークル「みなみニコニコ会」は、来年、発足以来100回開催の記念イベントを迎えます。同会の現:中牟田代表はこれまで尽力して頂いた歴代の代表・会員を偲び、盛大な記念パーティを計画しているそうです。

6月13日(木)7:56、令和6年度第1回ゴルフコンペが、主戦場の大博多カントリー倶楽部でスタートしました。珍プレーあり、好プレーありのなか、山﨑健治会員がネット65.0で見事優勝しました。(当日参加メンバー21名〈登録会員28名〉)

(中央 中牟田代表)

優勝した山﨑会員

「生涯現役社会」の実現を目指し、会員一同、体が許す限り、プレーし続ける意気込みだそうです。

サークル参加の最高年齢は89歳。当日も元気一杯。100歳の百寿プレーを見る事間違いなしです。

12月、3月にも開催予定です。奮って参加を!

広報委員　鳴岡 裕司

事務局からのお知らせ

令和６年度の配分金について

福岡県の地域別最低賃金が、1時間992円(51円引上げ・効力発生日10月5日)に改定されました。配分金の金額は、その年の最低賃金を考慮して金額を設定しており、毎年4月に適用しています。

本年度(令和6年度)の配分金は、4月から1時間980円としていますが、今回の地域別最低賃金の改定額が想定を超える伸びとなったため、10月以降配分金が最低賃金を下回る結果となりました。今後、配分金の改定手続きやお客様との交渉を経て、令和7年4月から新たな配分金単価を適用することとしています。

会員の皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、シルバー人材センターの請負・委任就業の報酬である配分金は、最低賃金法適用外となります。

＼ご意見やお便りをお待ちしています／

ふくおかシルバーだより
発行元
公益社団法人 福岡市シルバー人材センター
〒812-0044　福岡市博多区千代1丁目25-15
TEL：092-643-8200　FAX：092-651-5000
E-mail：honbu@fukuoka-sjc.org
https://www.fukuoka-sjc.org/